



春野中だより

〈教育理念〉 自他共愛
〈学校教育目標〉・明るく・豊かに・たくましく

令和5年度 第5号

令和5年8月29日（火）発行

さいたま市立春野中学校

〒337-0002 見沼区春野 2-2-1

TEL 682-3951 FAX 682-3952

「たくさんの挑戦・失敗・経験を」

校長 永谷 和俊

長いと思われた夏休みもあっという間に終わりました。充実した夏休みを過ごしていることを信じていながらも、「宿題に追われていないかな。昼夜逆転の生活になっていないかな。2学期も元気に学校へ来られるかな。」ととても不安でした。また、熱中症指数31を超えるような暑い日も続き、部活動では生徒と熱中症指数計をよく観察しながらの指導の連続となりました。心配が尽きない夏休みではありました。

そんな不安や心配をよそに、夏休みの間も、春野中の看板を背負って活躍してくれたことがたくさんありました。部活動では、県大会に男子バスケット、女子バレー、柔道、剣道、男女ソフトテニス、女子卓球、陸上そして、水泳、新体操が出演して活躍しました。その中で水泳では、3年生の櫻庭蒼紫さんが全国大会に出演、同じく3年生の正木快飛さんが関東大会で入賞という大きな活躍もありました。

また、8月2日から10日間、姉妹都市であるニュージーランド・ハミルトン市に「市立中学生等の派遣」として参加してきた生徒、英語弁論・英語暗唱大会に出演した生徒、さいたま市子ども会議やいじめ防止シンポジウム等に参加してくれた生徒会本部役員の活躍等もありました。他にも紹介ができていないこともあると思いますが、春野中学校に元気を与えていただきありがとうございました。

◇

◇

活躍といえば、夏休み中にも様々な国内外のスポーツで大いに盛り上がりました。女子サッカー・甲子園高校野球・世界陸上そして男子バスケットW杯などです。

最近の日本は、様々なスポーツでの活躍が素晴らしく、これまででは考えられないような上位まで勝ち上がっています。昭和の世代ではとても考えられないことです。当時の日本人で、現在のスポーツ界の活躍を誰が想像できたでしょうか。大リーグやヨーロッパサッカーで日本人選手が活躍できるはずがないと言われていました。そして今、多くのスポーツで世界に向けて「挑戦」する若者が続き、のびのびしたプレイで活躍しています。創造性豊かで、勝負にこだわっていながらも、相手へのリスペクトを忘れない態度など、見ていて本当に気持ちがよくなります。

◇

◇

さて、2学期の始業式では「たくさんの挑戦・失敗・経験を」と生徒に伝えました。

私たちは、初めての「挑戦」で成功という結果を求めすぎているところがあると思います。アスリートの言葉を借りれば「挑戦している限り負けてはいない」のです。野球では打率3割。バスケットでは3ポイント4割で名選手です。その名選手でも、残りの6～7割は「失敗」していることとなります。名選手でも多くの失敗をするのに、たった1回の「失敗」を恐れて「挑戦」をしないことはもったいないことです。

お金で買えないもの。それは、「挑戦」と「失敗」。そしてそれらからの「経験」です。「失敗」なんて気にしない。数打てば当たる。様々なことに挑戦して、失敗もたくさんし、多くの経験を重ねてほしいと思います。

2学期は、部活動や生徒会、委員会等で2年生を中心に代替わりが行われていきます。3年生は自らの進路を切り拓くために受験勉強も本格的になっていきます。その中でそれぞれが様々な「挑戦」をしてくれることと思います。「挑戦」は、気持ちのもち方と、少しでよいので「習慣」を変化させることが必要です。多くの「挑戦」と「失敗」をさせ、その「失敗」を笑い飛ばしたり、次の「挑戦」への励みにしたりしていきたいものです。2学期もどうぞよろしくお願いたします